



熊野比丘尼の今昔
 絵解きの魅力とは

熊野比丘尼とは鎌倉時代から江戸時代初期にかけて、熊野三所権現勧進のために諸国を歩いた尼僧のことです。熊野信仰を全国に広め、社殿の修繕費などに充てる浄財を募るため、仏の世界を大きな絵に現した曼荼羅絵図を携え、街角や寺院の前で人々を集めて絵解きをしながら全国を巡りました。絵解きの後に「ごかんじーん(ご勧進)」と、腰にさした柄杓を差し出しては寄附を募り、寄付者にはナギの葉や厄除けの護符を配ったといわれています。

比丘尼として、4年間様々な地で熊野を語り続けている吉川安子さんに、絵解きから何を学ぶかをお伺いしたところ、「この講座を通して、熊野には独自の宗教感や歴史があり、素晴らしい聖地であることを実感していただきたい。そして、この素晴らしい土地を後世にいかについでいくか、守っていくかを含めて熊野を知って欲しいです。」とお答えいただきました。

皆様も一度、熊野三山の参拝前に絵解きを聞いてみてはいかがでしょうか。既に参拝された方でも、熊野詣に大きな意味があったことを知る機会になると思います。月毎に代る比丘尼さんによって、それぞれ絵解きに個性があるのもこの講座の魅力の一つとなっています。皆様のご来場をお待ちしております。

さて、熊野古道センターでは、この熊野比丘尼に扮したガイドを新宮市観光ガイドの会からお招きし、月に1回「講座 熊野比丘尼が絵解く曼荼羅図」を開催しています。熊野那智参詣曼荼羅の絵解きは、聖地那智山の賑わいと、熊野で入水したとされる平維盛や平安時代の歌人和泉式部などの熊野を訪れた歴史上の人物の物語が盛り込まれています。また、熊野観心十界曼荼羅では、死後に閻魔大王の裁きを受け、生前の行い次第で極楽浄土に行くか、苦しみの世界に行くかが振り分けられる様が描かれており、私たちの心のあり方を改めて問い直す機会となっています。

講座「熊野比丘尼が絵解く曼荼羅図」開催日程

日時:11/1(土)、12/27(土)
 いずれも午前11時～12時、午後1時～午後2時の2回
 入場料:無料
 場所:展示棟ロビー
 定員:30名程度(事前申込不要)

熊野川と共に生きる

麦秋の彼方、白い三反帆の川舟が何艘も連なり、澄みきった川面をゆつくりと滑る。そして時折、下る筏。子どもも頃にいっも目にした長閑な光景は、今も鮮明に記憶に残る。私にとって熊野川はこの頃から友達だった。

私の住む集落は、全ての家が川沿に位置し、川端道や田畑の脇道など、川と街道と呼ばれる道路が唯一の生活道だった。

もう一つ、集落の暮らしを支えたのが、何百年と伝統を受け継いだ川舟だ。どの家にも必ず一艘は存在し、対岸への移動、川魚漁、物資の搬送や、河口まで海水を汲みに行くなど幅広く活用された。

小学生の頃は、1km余り上流に位置した学校に歩いて通った。夏場には学校から真っ直ぐ川に向かい、衣類と学用品を頭にしばって泳ぎ、下ってくる筏に乗せて貰い、家の前でまた泳ぐという馬鹿な事をよくやった。夏休みは、鮎や鰻を求めて一日中川で過ごした。その頃は水がきれいだった為、保護色の魚は簡単に手づかみできた。その頃ついた私の渾名が「なっぺ」だったが、中学生になっても馴染めなかつた思い出がある。

昭和三十一年代に入り、川と街道と呼ばれる古道が車道として改修された。これ迄暮らしを支えてきた川舟は車に変わり、筏も消えてしまった。又、渡し船も次々と姿を消し、川は徐々に寂しくなった。

その後高度経済成長に伴い、若者が都会に出て、過疎化が進み、更には河口汚濁、景観破壊も加速した。そこで、昔数多くの上皇達が参詣道として



熊野古道からのてがみ

熊野古道からのてがみ
 32 通目



利用し、今では世界遺産でもある熊野川を守り、歴史や文化を後世に継げよう。又、地域を元気にしようと、仲間たちで約四〇年振りに復活させたのが三反帆である。東海圏の最南端で、伊勢路と熊野三山はもとより、中辺路、大辺路をも結ぶ渡し船であろうと頑張っています。

神の宿る熊野。是非一度、熊野の神様のお膝元をお訪ね下さい。



谷上 嘉一さん
 (紀宝町) 熊野川体感塾代表

筆リレー
 次は尾鷲市の
 平山 泉さん

花尻 薫からの季節のたより No.32

ヤツデは日本の特産種で、中国には自生していないので、漢名はありません。日本では「八手」と書きますが、これは葉の数が多くを八で表現したものであると、植物学者の牧野富太郎博士が記しています。江戸時代の中頃(1775年)にオランダの医師が長崎に来日した際、ヤツデに興味を持ち当時ヨーロッパの「植物研究会」で紹介したのが初めてだと言われている。

晩秋の頃、白色の細かい花を球状につけ、数ヶ月経過すると、実が黒く熟します。分布は福島県以南で庭木として植えられています。屋敷内に植えれば邪悪の侵入を防ぐ超自然的な力があると信じられてきたからであると言います。鹿児島県では、隣町に伝染病が発生すると、すぐ町の入り口と各家々

ヤツデ ウコギ科

の門の近くに縄を張ってヤツデ・ナンテン・コショウを吊るし、「南天来た時は八手でつかまえて胡椒を食わせて毒を消す」(昔南天にチアン水素という毒があるといわれていた)と唱えたとされています。

ヤツデの方言で、和歌山県日高郡では、「鬼の団扇」といい、秋田県・山口県・福岡県では「鬼の手」、福岡県では「天狗葉」と言われています。ヤツデによく似て、葉が柔らかく、先が矢のような形をした植物のカミヤツデは、原産地は台湾・中国南部で紙の材料として利用されています。



センター敷地内『夢古道おわせ』へぜひお立ち寄りください!

お母ちゃんのランチバイキング
 尾鷲・東紀州の食材をふんだんに使った、地元のお母さんの味です。

営業時間: 11:00~14:00
 料金: 中学生以上.....1,200円
 小学生以上.....700円
 4歳~小学生未満.....300円
 乳幼児.....無料
 60歳以上.....1,000円

みえ尾鷲海洋深層水「夢古道の湯」
 深海415メートルから取水された海洋深層水のお風呂。ミネラル分が豊富で保温性に優れているので、湯上がり後もポカポカです。

開館時間: 10:00~21:00
 入浴料: 一般.....600円
 65歳以上.....500円
 4歳~小学生未満.....300円
 4歳未満.....無料

お風呂ががらり、カフェでまったり♪
 営業時間: 9:00~17:00
 (カフェラストオーダー 16:30)



●お車でお越しの方は...
 尾鷲北IC→坂場交差点を直進→「ホテルピオラ」さんがある交差点を右折→しばらく県道を海沿いに走り、案内看板を右折して到着です。(尾鷲北ICから約10分)

●電車でお越しの方は...
 ■JR尾鷲駅下車→ふれあいバス「尾鷲駅」バス停(徒歩1分)、または三重交通「尾鷲駅」バス停(徒歩5分)乗車→「熊野古道センター前」下車
 ■松阪駅→南紀特急バス「熊野古道センター」終点下車(約2時間)

★熊野古道センターニュースレター★
 “熊野古道センターからのてがみ 2014年秋号”

●発行日:2014年10月15日(季刊)
 ●編集・発行:三重県立熊野古道センター
 (三重県指定管理者 NPO法人熊野古道自然・歴史・文化ネットワーク)
 ●編集担当:野田
 ●連絡先:
 〒519-3625 三重県尾鷲市向井12-4
 TEL 0597-25-2666
 FAX 0597-25-2667
 Mail info@kumanokodocenter.com
 HP http://www.kumanokodocenter.com/
 ●開館時間:午前9時~午後5時
 ●入場料:無料
 ●休館日:12月31日、1月1日
 (その他メンテナンス時休館)
 60000141015RN

和歌山県世界遺産センターからのお知らせ

「紀伊山地の霊場と参詣道」が世界遺産に登録されて10周年を迎え、和歌山県世界遺産センターが行う参詣道保全活動(道普請)への申込みも一段と増えています。なかでも、一度参加された方がリピーターとなり、何度も道普請をしていただくことが多くなっています。道普請は、通常、1トン単位の土入れ作業を行うため、団体での参加に限定していますが、9月20日には、個人での参加が可能な「環境保全トレッキング」が高野山町石道で実施され、約120名に道普請を体験していただきました。個人で参加ができる「環境保全トレッキング」をご希望の方は、和歌山県商工観光労働部観光振興課世界遺産班(073-441-2424)へお問い合わせください。

当センターでは、世界遺産の「良好な保全」及び「適切な活用」が円滑に進むよう、世界遺産セミナー(年間4回)を開催しています。今回は、下記の日程で開催致します。(参加費無料)

和歌山県世界遺産協議会(事務局:和歌山県世界遺産センター)では、小中学校及び高等学校等を対象に、世界遺産の価値を次世代へ継承するために、次世代育成事業を実施しています。今年度は和歌山県内の20校が参加し、世界遺産学習を行う予定になっています。

※参詣道保全活動及び世界遺産セミナーに関するお問い合わせは、**和歌山県世界遺産センター(0735-42-1044)**までお願いいたします。

平成26年度 第3回世界遺産セミナー(予定)

※日時・内容・会場等につきましては、諸般の事情により変更させていただくこともありますので、ご了承ください。詳細につきましては、和歌山県世界遺産センターまでお問合せ下さい。

第3回 平成26年

12/14(日) 13:00~15:00

内容 世界遺産及び黒河道について **参加費無料**

講師 入谷和也氏

会場 橋本市高野口地区公民館(和歌山県橋本市高野口町名倉813-2)



「道普請」とは
文化財保護専門職員による指導のもと、参詣道の修復活動(土入れ・側溝清掃等)を行っていただくものです。ボランティア活動・CSR活動として、毎年、多くの皆さまに参加していただいております。

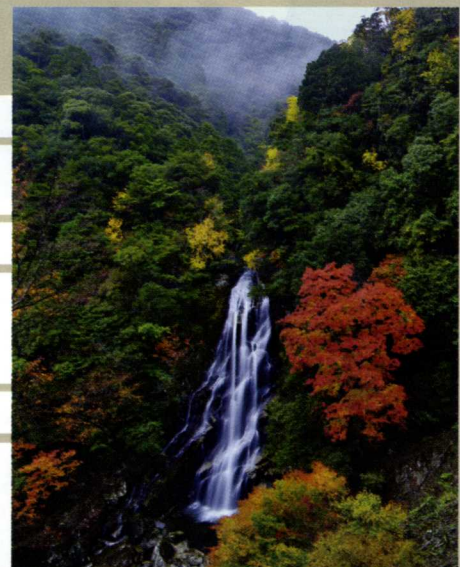
平成26年6月7日8月の道普請参加団体(敬称略) JATA/JWC(JTB西日本新入社員研修)/さわみ一般財団法人紀伊民報/リゾートホテルフォーレ南紀白浜/日本電通/泉南子どもゆめ活動実行委員会/ケネスト/環境保全トレッキング田辺市ボランティアツアー

お問合せ先 和歌山県世界遺産センター 住所:和歌山県田辺市本宮町本宮100-1
TEL:0735-42-1044 FAX:0735-42-1560 E-mail:e0624002@pref.wakayama.lg.jp

その他 Guide&Tips 第8回 世界遺産登録10周年記念 熊野古道フォトコンテスト 作品募集

写真を通じて熊野古道とその周辺にある自然や祭り、風物詩など、東紀州の様々な魅力を再発見し、全国へ向けて当地域の多様な魅力を発信するための、第8回熊野古道フォトコンテストを開催します。東紀州地域の魅力を表現した自慢の作品をご応募ください!

- 応募締切:平成26年12月22日(月) 当日必着
- 応募テーマ:「東紀州の四季」
風景・祭り・風物詩などを通じて、東紀州の四季の魅力を表現した写真
- 審査委員:竹内 敏信氏(社団法人日本写真家協会会員、熊野古道写真学校長)
- 賞: **最優秀賞 1点 賞金10万円**
優秀賞 2点 賞金 3万円
入選 多数 記念品(5,000円相当)
- 応募規定など詳細は三重県立熊野古道センターまでお問合せ下さい。
- 応募先・問合せ先: 三重県立熊野古道センター フォトコンテスト係
〒519-3625 三重県尾鷲市向井12-4
TEL:0597-25-2666 FAX:0597-25-2667
Mail:info@kumanokodocenter.com



第7回熊野古道フォトコンテスト 最優秀賞「荒滝」小林良美

東紀州のうまいもの



ガスイビのサラダ

～ガスイビ～

禁漁期も終わりに9月から沖合底曳網漁が行われていますが、尾鷲はエビの宝庫と言われているのを存じでしょうか? テナガエビ、クモエビ、オニエビ、ウチワエビ、ガスイビなど様々なエビが沖合底曳網で漁獲されています。今回は、その中から「ガスイビ」をご紹介します。

標準和名をヒゲナガエビといいますが、尾鷲ではガスイビと呼ばれています。名前の由来は、背ワタを取るときにガスの臭いがすることからついたのではないかとされています。

味は、刺身で食べると甘エビよりもトロリとした甘さが口に伝わり最高!! 天ぷら、かき揚げにしても美味しくいただけます。また、殻が薄く柔らかいので殻付きのまま唐揚げにして、揚げたてを殻の旨みと味わうのも絶品です。ぜひ東紀州地域を訪れた際に味わってみてください。ガスイビは、地元の魚店やスーパー等でお買い求めいただけます。

イベント情報 Event Info.



お神輿の再現

企画展 1 シリーズ熊野のお祭り 「木本まつり」

熊野市木本町で、毎年10月におこなわれる木本神社例大祭「木本まつり」を紹介します。

会期:開催中～11月3日(月・祝)
午前9時～午後5時
入場料:無料
場所:企画展示室

ギャラリートーク

日時:10月19日(日)午後1時～(約50分間)
入場料:無料
場所:企画展示室
解説:和田利信氏(熊野市文化財専門委員)

講演会「木本まつりの今昔」

日時:10月26日(日)午後1時30分～午後3時
入場料:無料
場所:映像ホール
講師:浜中弘充氏(元熊野市文化財専門委員)

企画展 2 熊野古道世界遺産登録10周年記念 企画展「海上翠舟 熊野古道を書く」

いこしえから、多くの人々が祈りの道として歩いた熊野古道の風景を、御浜町在住の書家、海上翠舟氏による書で表現した作品を展示します。

会期:平成26年11月15日(土)～平成27年1月18日(日)
午前9時～午後5時 *12月31日、1月1日休館
入場料:無料
場所:企画展示室

ギャラリートーク

海上翠舟氏(書家)による作品解説を行います。
日時:平成26年11月15日(土)午後1時30分～2時30分
平成26年12月7日(日)午後1時30分～2時30分
参加料:無料
定員:30名程(申込不要・先着順)
場所:企画展示室

体験学習「熊野古道を書こう」 12月12日～受付開始

さまざまな色の墨を使って、熊野古道を書き表現します。
日時:平成27年1月12日(月・祝)午後1時30分～3時30分
参加料:300円
定員:20名(要申込・先着順)
場所:体験学習室
講師:海上翠舟氏(書家)



体験学習

10/26(日)、11/23(日) 月別ひのきアート教室 「10月ヒノキの年賀状 11月クリスマス飾り」

地域の特産品である尾鷲ヒノキを使ったもの作り教室です。
時間:午後1時～4時
参加料:各1,000円
定員:10名(要申込・先着順)
場所:体験学習室 くらぶ
講師:ひのきアート空楽風会員



ヒノキの年賀状

新しい古道の歩き方

11/23(日)「新宮の世界遺産巡り」神倉神社～千穂ヶ峰～速玉大社

和歌山県新宮市の権現山、神倉神社から千穂ヶ峰の頂上を目指し、熊野速玉大社へ向かうツアーです。
時間:午前10時～午後2時
参加料:1,500円(保険・昼食代含)
定員:20名(要申込・先着順)
場所:和歌山県新宮市
ガイド:新宮市観光ガイドの会会員
受付:10月23日(木)～11/16(日)



講座・講演

10/12日(日) 上村真由講演会「ミャンマー(ビルマ)の深層」

ボランティアとしてミャンマーへ向かい学校建設など、子どもたちの教育環境の整備に尽力されてきた上村さんに、ミャンマーとそこで暮らす子どもたちの現状についてお話いただけます。
時間:午後1時30分～3時
参加料:無料
定員:80名(事前申込不要)
場所:映像ホール
講師:上村真由氏



10/25日(土) 元町夏央トークショー「南紀の台所」

三重県内のベストセラー漫画となっているグルメコミック「南紀の台所」の著者 元町夏央氏と南紀地域の郷土料理に造詣の深い武岡由紀子氏をお招きし、トークショーを開催します。
時間:午後2時～4時
参加料:無料
定員:80名(要申込・先着順)
場所:映像ホール
講師:元町夏央氏(漫画家)、武岡由紀子氏(おかずの店 祐美 店主)



11/22(土) 連続講演会「古文書から紐解く旅人」第4回～全国から熊野へ～

江戸時代後期の尾鷲を通過した巡礼や旅人の足取りなど、古文書を紐解きながら講演していただきます。
時間:午後1時30分～3時30分
参加料:無料
定員:70名(申込不要)
場所:映像ホール
講師:仲重信氏(尾鷲古文書の会会員)



その他

ロビー展「熊野への道～写真で歩く参詣道 小辺路」

写真で歩く参詣道第3回目、高野山と熊野本宮大社2つの霊場を結ぶ小辺路の文化的景観や自然風景を写真やパネルで紹介いたします。

会期:開催中～11月3日(月・祝)
時間:午前9時～午後5時
入場料:無料
場所:展示棟ロビー



特別展「能面展 同時展示:陶製万華鏡」

四日市市在住の岡村齋さんが12年間に制作した能面55点を展示。妻久子さんの手作り万華鏡もご覧ください。
会期:開催中～10月26日(日)
時間:午前10時～午後3時
入場料:無料
場所:研究収蔵棟特別展示室

